

武蔵大学 白雉映像祭 🍷



2つの感動ドキュメンタリー 映画上映&監督のトーク

Screening & Talkshow

今年度の白雉映像祭は東日本大震災が発生した3月11日(土)に開催する。そして3.11を「グローバル」な視点から見つめる二つの作品を上映し、各作品の上映後に、映画評論家の竹内海四郎氏も交え、監督によるゲストトークを行う。

両作品は3.11そのものを描くわけではないが、日本でボランティア活動をする外国人や海外で日本文化を発信する日本人の活動を描く中で、自ずと3.11と結びついてくる。

1作目は、東京を拠点に活躍するブラジル出身の映像作家でジャーナリスト、ロベルト・マクスウェル監督の『軌跡 ～在日ブラジル人の25年～』。

2作目は、ロスアンゼルスを拠点に活躍する日本人の映像作家でジャーナリスト、小西未来監督の『カンパイ! 世界が恋する日本酒』。

『軌跡』では、震災後の福島でボランティア活動をするブラジル人が登場、『カンパイ!』では震災で打撃を受けた老舗酒蔵を継ぐ南部美人・五代目蔵元の久慈浩介が登場する。

両作品とも、グローバル時代における人、モノ、情報の国際移動を考えるヒントに満ちている。さあ、味わい深い映像と、滅多に聞けないトークを楽しもう!

(2016年度 白雉映像祭担当: 社会学部 アンジェロ・イシ教授)



O Outro Lado do Mundo

① 『軌跡 ～在日ブラジル人の25年～』

STORY 日本で暮らすブラジル人たちの本音と素顔に迫った11本の短編の中から3本を厳選して上映。



ロベルト・マクスウェル監督: リオデジャネイロ出身、2005年来日、静岡大学大学院にて修士号(社会学)。記者、写真家、映像作家として活躍。TBS『外国人記者は見た!』などに出演。ちなみに当日のトークは日本語です!(笑)

Kampai! For the Love of Sake

② 『カンパイ! 世界が恋する日本酒』

STORY 外国人として初の杜氏のイギリス人、世界を股にかける蔵元、日本酒の魅力を発信するアメリカ人を負ったドキュメンタリー。



小西未来監督: 南カリフォルニア大学映像学部卒。メイキング『The Diary of ジョゼと虎と魚たち』など様々な映像作品を手掛ける一方、映画ジャーナリストとしても活躍し、ハリウッド外国人記者クラブの一員。当日はアカデミー賞の話も聞けるかも!?

プログラム
(時)

12:45 開場
13:00 - 14:00 ドキュメンタリーシリーズ
『軌跡～在日ブラジル人の25年』上映(60分)
14:00 - 15:00 ロベルト・マクスウェル監督とのゲストトーク、
観客との質疑応答

15:00 - 15:15 休憩
15:15 - 16:50 『カンパイ ～ 世界が恋する日本酒』上映(95分)
16:50 - 17:50 小西未来監督とのゲストトーク、
観客との質疑応答
※当日の状況により予定が前後する可能性があります。

入場無料! (途中入場可、予約不要)

*ただし、人数把握のため、事前の出席表明は大歓迎。
問い合わせ先: angelo@cc.musashi.ac.jp (アンジェロ・イシ)

日時: 2017年

3/11(土) 13:00-18:00

会場: **武蔵大学(江古田キャンパス)1002教室(1号館地下1階)**